

ヴァーチャルデザインスタジオ

Virtual Design Studio 2000@KIT,TDU,TWA

2000

2001年8月から9月末にかけて青森市北国型集合住宅国際設計コンペに取り組みました。本学非常勤講師の矢部達也氏を筆頭に大学院生、学部生混合のチームを組み、オンラインによるコミュニケーションツールと週一度のミーティングを通じて設計に取り組みました。このプロジェクトで使用したコミュニケーションツールは、DCW2001のシステムを改良(シンプルに使いやすく)したもので、アップロードされた画像ファイルのサムネイル画像が自動作成される機能やアップロードファイル検索・一覧機能などを付加しました。

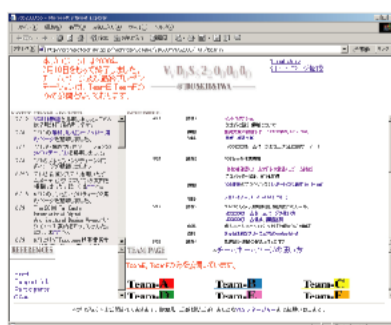
Subject

このプロジェクトでは「Ginza on the web(サイバー銀座計画)」という設計課題が与えられました。東京銀座を計画地として魅力ある銀座の再構築を行うための「①水辺の再生と路地の活性(生命のダイナミズム)」「②新銀プラ計画(環境-コミュニケーション)」「③新しい銀座カルチャーの創造(情報発信)」をキーワードとして、ウェブ上に新たな3次元空間の構築が求められました。実際に、銀座通連合会は銀座都市計画会議を組織して、1999年11月にまちづくりビジョンを提案しており、その内容は銀座通連合会のホームページで閲覧可能です。今回のプロジェクトではこれらの資料を利用して計画を行いました。最終提出物は、現実的な建築・都市空間の提案でも、ウェブ上でしか存在し得ない仮想スペースであってもよいというものでした。

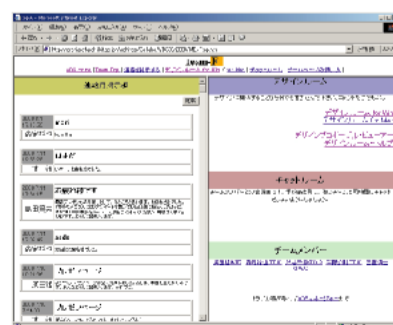


Project Page & Communication Tool

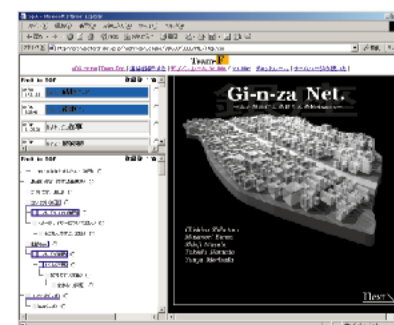
設計課題やスケジュール、参加者情報などはプロジェクトページにまとめて掲載されます。プロジェクトページはいわば仮想空間に構築された教室であるといえます。一方、各チームが協同活動を行うためのチームページも用意されており、これは仮想空間上で製図室のような役割を果たします。チーム内でのスケジュール調整などに利用する「連絡用掲示板」、デザインに関する情報登録を行う「デザインピンナップボード」、過去の登録を3次元的に閲覧できる「デザインプロポーザルビューアー」などの各ツールを利用してチームのメンバーが協同で設計課題に取り組みました。



プロジェクトページ



連絡用掲示板



デザインルーム